

## 「令和8年度病害虫発生予報第3号」の発表について

○今後の主要な病害虫の発生予察情報（発生予報）については次のとおりです。

- ・ 水稲では、いもち病（葉いもち）の発生が、北東北、東海及び近畿の一部の地域でやや多くなると予想されています。
- ・ 野菜では、きゅうり及びトマトのコナジラミ類の発生が、北関東及び四国の一部の地域で多くなると予想されています。
- ・ 果樹では、果樹カメムシ類の発生が、全国的に多くなると予想されています。また、かんきつのそうか病の発生が、南関東、東海及び南九州の一部の地域で多くなると予想されています。

この他、ねぎのアザミウマ類等、地域によっては多くなると予想されている病害虫があるので、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に適期の防除を実施してください。

### 国の発生予察情報について

国は都道府県の協力の下、植物防疫法（昭和25年法律第151号）に基づき、有害動植物の防除を適時で経済的なものにするため、気象、農作物の生育状況、有害動植物の発生調査の結果等を分析し、有害動植物の発生予察及び防除対策に係る情報（発生予察情報）を提供しています。

本予報は、都道府県が提供する発生予察情報を取りまとめた情報になりますので、地域における情報の詳細は、都道府県病害虫防除所のホームページ等を参照してください。

- ・ 国の病害虫発生予察情報及び都道府県病害虫防除所のリンク

参照URL: <https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/yosatu/index.html>

### 総合防除の実践

温暖化等の気候変動や薬剤抵抗性の発達等を背景に、病害虫・雑草への対応が年々難しくなっています。このため、消費者に支持される食料の安定的な供給が確保されるよう、「予防・予察」に重点を置いた総合防除によって、病害虫・雑草が発生及び増加しづらい生産環境を整え、持続的かつ効果的な防除を適時適切に実施し、病害虫・雑草のまん延防止及び農作物への損害の発生を軽減することが重要です。

- ・ 総合防除実践ガイドライン

参照URL: [https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/g\\_ipm/attach/pdf/index-34.pdf](https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/g_ipm/attach/pdf/index-34.pdf)

- ・ 総合防除実践マニュアル

参照URL: [https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/g\\_ipm/attach/pdf/index-44.pdf](https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/g_ipm/attach/pdf/index-44.pdf)

気象庁の向こう1か月の予報（6月4日付け）では、気温は、東日本、西日本及び沖縄・奄美で高い、北日本で平年並と予想されています。降水量は、北日本日本海側、東日本日本海側及び西日本日本海側でほぼ平年並、北日本太平洋側、東日本太平洋側、西日本太平洋側で平年並か多い、沖縄・奄美で多いと予想されています。日照時間は、北日本、東日本日本海側、西日本日本海側及び沖縄・奄美でほぼ平年並、東日本太平洋側及び西日本太平洋側で平年並か少ないと予想されています。

- ・気象庁ホームページ

参照URL: <https://www.data.jma.go.jp/cpd/longfcst/kaisetsu/>  
(外部リンク)

水稻で各地の平年値より発生が「多い」・「やや多い」と予想される病虫害及びその地域

作物名	病虫害名	発生が「多い」と予想される地域	発生が「やや多い」と予想される地域
水稻	いもち病 (葉いもち)		北東北、東海、近畿

注) 表中の地域については、必ずしもその全域で発生が見られるものではありません。

- ・**いもち病 (葉いもち)** の発生が、北東北、東海及び近畿の一部の地域でやや多くなると予想されています。梅雨期に入り、断続的な降雨がある場合には本病が急激に発生し、まん延するおそれがあります。葉いもちの発生を予防するため、水田に放置した補植用の取置苗は伝染源となるので、本田内から早期に除去してください。また、水田内の観察による早期発見に努め、本病の発生を認める場合は、早期に対策を行ってください。なお、一部の薬剤に対して耐性菌が発生しているので、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に効果的な薬剤による防除を実施してください。

- ・**斑点米カメムシ類**は、多くの種が水田周辺の雑草に生息し、出穂期になると水田に侵入し穂を加害します。本虫の発生量を抑制するため、水田周辺の畦畔や休耕田の適切な雑草管理を実施してください。なお、地域一斉に除草することで防除効果が高まるため、可能な限り地域一斉の除草を実施してください。被害の程度は、出穂期、水田への本虫の侵入量、カメムシの発生種の構成等によって異なるので、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に、水田の観察を行い、適期に防除を実施してください。

- ・**イネカメムシ**は、斑点米だけでなく、不稔被害も引き起こす斑点米カメムシ類の一種であり、近年、発生の増加に伴い不稔による減収被害が生じた地域も報告されています。本虫による不稔を防止するためには、他の主要な斑点米カメムシ類と異なり、出穂期に防除することが重要です。

なお、周囲より出穂が早い品種の水田や、防除が行われていない水田（飼料用米等）は、集中加害を受ける場合があることから、これらの水田は特によく水田内を観察し、発生に注意してください。

- ・**スクミリンゴガイ (ジャンボタニシ)** は、昨冬の気温が高かった発生地域では多くの個体が越冬しているおそれがあることから、被害の発生を警戒する必要があります。移植前に取水口・排水口にネットや金網を設置し、本貝の本田への侵入を防止するとともに、移植苗は食害されにくい4葉期以上の中苗～成苗を使用してください。移植時は薬剤散布を実施し、移植後は本貝の摂食行動を抑制するために、水深を4cm（理想は1cm）以下に維持する浅水管理を実施してください。降雨により水位が上昇すると、本貝の摂食行動が助長されることから、梅雨時期の水管理には注意してください。

本貝は、農機具・機械に付着した泥とともに他のほ場へ拡散するおそれがあります。そのため、発生ほ場で農機具・機械を使用した後は泥をよく落としてから移動させてください。なお、一旦定着した本貝を根絶することは困難なこと、また周辺の水田にも悪影響が及ぶことから、除草目的であっても、本貝の放飼は行わないでください。

- ・スクミリンゴガイ (ジャンボタニシ) の被害防止対策について

参照URL: <https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/siryou2/sukumi/sukumi.html>

- ・スクミリンゴガイの防除支援マニュアル

参照URL: <https://ml-wiki.sys.affrc.go.jp/applesnail/start>

## 野菜・花き

野菜・花きで各地の平年値より発生が「多い」・「やや多い」と予想される病害虫及びその地域

作物名	病害虫名	発生が「多い」と予想される地域	発生が「やや多い」と予想される地域
きゅうり	コナジラミ類	四国	南関東、甲信
	アブラムシ類		北東北、南関東、甲信、近畿
	べと病	近畿、四国	北東北、北関東、北陸、東海、北九州
トマト	コナジラミ類	北関東、四国	南関東、甲信、中国
ねぎ	アザミウマ類		北東北、関東、甲信、北陸、近畿、中国、四国、北九州
作物共通	オオタバコガ	北関東	南東北、甲信、近畿

注) 表中の地域については、必ずしもその全域で発生が見られるものではありません。

### アブラムシ類・コナジラミ類・アザミウマ類

・**コナジラミ類**については、四国等の一部の地域のきゅうり及びトマトにおいて多くなると予想されています。また、**アブラムシ類**については、北東北や南関東等の一部の地域のきゅうりにおいてやや多くなると予想され、**アザミウマ類**については、北東北や関東等の一部の地域のねぎにおいてやや多くなると予想されています。

これらの微小害虫は、作物を加害するほか、多くの病原ウイルスを媒介することが知られています。発生密度が高くなってからでは防除が困難となるため、ほ場の観察をきめ細かく行うとともに、発生初期に防除を実施してください。なお、これらの微小害虫は、薬剤抵抗性が発達しやすいので、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に同一系統薬剤の連用を避けるなど、効果の高い薬剤を適切に選定してください。また、天敵による生物的防除等を組み合わせた効果的な防除を実施してください。

### 作物共通（オオタバコガ）

・**オオタバコガ**の発生が、北関東の一部の地域で多くなると予想されており、香川県から注意報が発表されています。本虫の幼虫は果実や花蕾、結球の内部に食入するため、発生初期の防除が重要です。都道府県の発表する発生予察情報等を参考に、ほ場内の観察をきめ細かく行い早期発見に努め、適期に防除を実施してください。施設栽培では、開口部に防虫ネットを適切に展張し、成虫の侵入を防止してください。

## 果樹・茶

果樹・茶で各地の平年値より発生が「多い」・「やや多い」と予想される病虫害及びその地域

作物名	病虫害名	発生が「多い」と予想される地域	発生が「やや多い」と予想される地域
果樹共通	果樹カメムシ類	関東、北陸、東海、近畿、中国、四国、九州	東北
かんきつ	ハダニ類		南関東、中国、九州
	そうか病	南関東、東海、南九州	北九州
なし	シンクイムシ類	南関東、北九州	北関東、中国
	黒星病	東海	南東北、近畿、中国
茶	チャノミドリ ヒメヨコバイ	東海、南九州	北九州
	ハマキムシ類	九州	南関東、東海、近畿
	炭疽病	南九州	東海、北九州

注) 表中の地域については、必ずしもその全域で発生が見られるものではありません。

### 果樹共通

・**果樹カメムシ類**の発生が、全国的に多くなることが予想されており、西日本を中心とする多くの県から注意報が発出されています。今後も気温が高く推移すると予想されていることから、本虫の越冬世代の活動の活発化に加え、新世代成虫の発生にも注意する必要があります。都道府県の発表する発生予察情報等を参考にしつつ、スギ林やヒノキ林等の山林に隣接している園地では、果樹カメムシ類による被害が多い傾向があることから、飛来状況に留意してください。園内の観察をきめ細かく行い、飛来が認められた場合は、飛来初期から防除を実施してください。本虫は薄暮期から夜間を中心に活動するため、夕方の薬剤散布が効果的です。なお、地域一斉に薬剤散布を実施すると防除効果が高まることから、発生状況等を地域で共有して、可能な場合は地域一斉の防除を実施してください。

なし、ぶどう等の有袋栽培の場合、早期に袋かけを行ってください。この場合、果実が肥大して袋に密着すると吸汁される場合があるので、注意してください。

施設栽培では、防虫ネット等で施設開口部を覆うことにより、侵入防止を図ってください。なお、防虫ネット又は多目的防災網に破れや隙間がないか念入りに点検を行い、破損がある場合は速やかに補修を行ってください。

#### ・カメムシ類の防除

参照URL: <https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/kamemusi.html#kajyukamemusirui>

### かんきつ

・**そうか病**の発生が、南関東、東海及び南九州の一部の地域で多くなると予想されています。本病は病原菌が葉や枝の病斑で越冬し、降雨等により越冬病斑から新葉への感染が助長されます。新葉の病斑から幼果に二次伝染するため、特に本病に弱い温州みかんやレモンでは園内を注意深く観察し、り病した枝や葉が確認されたら確実に除去して薬剤による防除を徹底してください。

## 茶

・炭疽病の発生が、南九州の一部の地域で多くなると予想されています。本病は、降雨により胞子が飛散して感染するため、梅雨期は特に注意が必要です。園地を注意深く観察し、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に、薬剤防除を実施してください。また、発生の多いほ場では、整枝及びせん定を適切に実施してください。

## その他（梅雨期に留意する病害虫）

・サツマイモ基腐病は、さつまいもの茎葉やいもに枯死・腐敗を引き起こす病害で、平成30年度に沖縄県、鹿児島県及び宮崎県において初めて確認され、これまでに全国36都道府県で発生が確認されています。

本病による被害は以前と比較すると抑制されつつありますが、引き続き、防除対策を確実に講じる必要があります。本病が感染した株に形成された胞子が風雨や湛水により移動し、周辺株へ感染します。梅雨期の断続的な降雨により感染が助長するおそれがあるため、栽培期間中に病原菌を「増やさない」ように、ほ場の排水対策やほ場の見回りによる発病株の早期の抜き取り、薬剤散布の実施、農機具の洗浄等の総合的な防除対策を徹底してください。

・サツマイモ基腐病の防除

参照URL：<https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/siryoku2/index.html>

・サツマイモ基腐病の発生生態と防除対策

参照URL：[https://www.naro.go.jp/publicity\\_report/publication/pamphlet/tech-pamph/158250.html](https://www.naro.go.jp/publicity_report/publication/pamphlet/tech-pamph/158250.html)

## 都道府県が発表した警報、注意報及び特殊報

令和8年5月12日以降、都道府県が発表している警報、注意報及び特殊報は以下のとおりです。

### 警報

発表はありません。

注) 重要な病害虫が大発生することが予測され、かつ、早急に防除措置を講ずる必要がある場合に発表します。

### 注意報

発表月日	都道府県	対象作物	対象病害虫
5月12日	三重県	ナシ、ブドウ、かんきつ類、カキ等 果樹類	果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ・ツヤアオカメムシ）
5月12日	長崎県	果樹共通	カメムシ類（チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ）
5月13日	熊本県	果樹共通（かんきつ、なし、かき、すもも、うめ等）	果樹カメムシ類（主にチャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ）
5月13日	徳島県	果樹全般（特にウメ、モモ、ナシ、カキ）	果樹カメムシ類（ツヤアオカメムシ、チャバネアオカメムシ、クサギカメムシ）
5月14日	滋賀県	果樹（ナシ、ブドウ、カキ等）	果樹カメムシ類（主にチャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ）

5月14日	栃木県	果樹類 (なし、りんご、ぶどう、キウイフルーツ、もも、うめ等)	果樹カメムシ類 (チャバネアオカメムシ)
5月15日	愛媛県	うめ、もも、びわ、キウイフルーツ、なし、すもも、かんきつ、かき等	果樹カメムシ類 (チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ)
5月18日	香川県	モモ、ビワ、ナシ、スモモ、ウメ等	果樹カメムシ類 (主にチャバネアオカメムシ)
5月19日	岡山県	もも、なし等	果樹カメムシ類 (主にチャバネアオカメムシ)
5月20日	兵庫県	果樹類 (特にびわ、もも、なし、かんきつ、かき)	果樹カメムシ類 (チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ)
5月20日	京都府	果樹全般	果樹カメムシ類 (チャバネアオカメムシ、クサギカメムシ、ツヤアオカメムシ)
5月20日	長野県	コムギ	赤かび病
5月20日	奈良県	ウメ、モモ、ナシ、カキ、ブドウ、カンキツ	果樹カメムシ類 (チャバネアオカメムシ、クサギカメムシ、ツヤアオカメムシ)
5月21日	大分県	ネギ	べと病
5月21日	富山県	果樹 (ナシ、リンゴ、ブドウ、モモ、カキ等)	果樹カメムシ類 (チャバネアオカメムシ、クサギカメムシ、ツヤアオカメムシ)
5月22日	大阪府	果樹全般 (うめ、もも、なし、かき、ぶどう、みかんなど)	果樹カメムシ類
5月26日	鹿児島県	サツマイモ	ムツスジアシナガゾウムシ
5月26日	鹿児島県	カンキツ、ナシ等	果樹カメムシ類 (ツヤアオカメムシ、チャバネアオカメムシ)
5月27日	千葉県	果樹全般 (特にナシ)	果樹カメムシ類 (チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ)
5月28日	岐阜県	果樹 (ナシ、モモ、カキ、リンゴ、ミカン等)	果樹カメムシ類 (チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ越冬世代成虫)
5月28日	広島県	果樹全般 (なし、もも、りんご、ぶどう、かんきつ等)	果樹カメムシ類 (チャバネアオカメムシ、クサギカメムシ、ツヤアオカメムシ)
5月28日	群馬県	果樹 (ウメ、オウトウ、モモ、スモモ、ブドウ、ナシ、リンゴ、キウイフルーツ)	果樹カメムシ類 (チャバネアオカメムシ)
5月29日	沖縄県	さとうきび	バッタ、イナゴ類
6月1日	鳥取県	果樹全般	果樹カメムシ類
6月2日	愛知県	果樹全般 (ウメ、モモ、ナシ、ブドウ、カキ等)	果樹カメムシ類 (チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ)
6月5日	香川県	野菜、花き類 (ナス、トマト、ミニトマト、キュウリ、スイートコーン、オクラ、キク、カーネーション等)	オオタバコガ
6月5日	徳島県	サツマイモ、野菜類、花き類	ハスモンヨトウ、シロイチモジヨトウ

注) 警報を公表するほどではありませんが、重要な病害虫が多発することが予測され、かつ、早めに防除措置を講じる必要がある場合に発表します。

## ■ 特殊報

発表月日	都道府県	対象作物	対象病害虫
6月5日	秋田県	くさそてつ (こごみ)	クロアシコメツキモドキ

注)各都道府県において、新たな病害虫を発見した場合及び重要な病害虫の発消長に特異な現象が認められた場合であって、従来と異なる防除対策が必要となるなど、生産現場への影響が懸念される場合に発表します。

病害虫の生態等の生物学的情報や防除に関する情報の詳細については、各都道府県の病害虫防除所のホームページ等を参照してください。

## 見慣れない病害虫被害が発生していた場合の対応

我が国未発生又は我が国の一部のみが発生している重要病害虫が、万が一国内の未発生地域に侵入した場合、国内の農業生産に重大な損害を与えるほか、農産物の輸出を阻害するおそれがあります。こうした重要病害虫の侵入に伴う国内の農業生産や輸出への影響を防止するためには、国内の未発生地域への重要病害虫の侵入を早期に発見し、速やかに的確な防除を実施することが重要です。

農作物に見慣れない病害虫被害が発生していた場合には、最寄りの植物防疫所又は都道府県の病害虫防除所等にお知らせください。

- ・植物防疫所の連絡先  
参照URL：<https://www.maff.go.jp/pps/j/introduction/domestic/dsinnyuu/221121.html>
- ・都道府県の病害虫防除所の連絡先  
参照URL：<https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/yosatu/boujoshou.html>

## 用語解説

(地域)

北海道：北海道

東北：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

北東北：青森県、岩手県、秋田県

南東北：宮城県、山形県、福島県

関東：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

北関東：茨城県、栃木県、群馬県

南関東：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

甲信：山梨県、長野県

北陸：新潟県、富山県、石川県、福井県

東海：岐阜県、静岡県、愛知県、三重県

近畿：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

中国：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県

四国：徳島県、香川県、愛媛県、高知県

九州：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県

北九州：福岡県、佐賀県、長崎県、大分県

南九州：熊本県、宮崎県、鹿児島県

沖縄：沖縄県

(発生量(程度))

多い(高い)：やや多いの外側10%の度数の入る幅

やや多い(やや高い)：平年並の外側20%の度数の入る幅

平年並：平年値を中心として40%の度数の入る幅

やや少ない(やや低い)：平年並の外側20%の度数の入る幅

少ない(低い)：やや少ないの外側10%の度数の入る幅

(平年値は過去10年間の平均)

(参考) 今後の発表予定日

第4号：令和8年7月8日(水曜日)

第5号：令和8年7月23日(木曜日)

第6号：令和8年8月5日(水曜日)

第7号：令和8年9月9日(水曜日)

第8号：令和8年10月7日(水曜日)

第9号：令和8年11月11日(水曜日)

第10号：令和9年3月10日(水曜日)

### 【お問合せ先】

消費・安全局植物防疫課

代表：03-3502-8111(内線4562)

ダイヤルイン：03-3502-3382